

平成29年度 森林環境教育（森林E S D）活動報告・意見交換会 活動報告事例

事例	団体名	プログラム概要
	プログラム名	
	活動場所	
H29 1	すみだこども園 橋本ひだまり倶楽部（和歌山県）	和歌山県橋本市運動公園「ひだまりの郷」を活用した体験。 4歳児 ・ひだまりの郷の森の探検 ・木工体験 くまさんペンダント ・絵本、紙芝居読み聞かせ、発表 5歳児 ・ひだまりの郷の森の探検 ・竹の間伐、貯金箱作りなど ・絵本、紙芝居読み聞かせ、発表
	・森とともだち～自然の中で共に育ちあう～ ・「みつけて ふれて わくわくドキドキ!!」 森あそび保育実践プロジェクト	
	和歌山県橋本市 ひだまりの郷内	
H29 2	森のようちえんウィズ・ナチュラ 明日香森林環境教育フィールド Forest River（奈良県）	森のようちえんウィズ・ナチュラは、明日香森林環境教育フィールド「Forest River」が管理する複数の里山をメインフィールドとして、野外での保育活動を行っている。職員・保護者も里山整備を手伝い、野外保育の活動場所と一緒に整備をしている。体験活動としては、田植えや稲刈り体験、しいたけ菌打ちや野菜や果実の収穫体験、餅つき、竹灯りイベント、森林整備体験、草刈り、カマド設置などを行い、里山整備や環境教育イベントで交流を深めている。
	森のようちえんから広がる、里山の人・世代・未来	
	奈良県高市郡明日香村栢森	
H29 3	森のようちえん ことこと 木こりの会（岡山県）	木こりの会の活動フィールドで、子どもの保育を実施している。森のようちえんのスタッフが「木こりの会」の会員になり、木こりの会の活動地で、森林整備に参加。森のようちえんの活動場所としても利用している。子どもの保護者なども応援を得て、里山整備活動を活性化していきたいと考えている。活動は、里山での活動、川での活動、たき火・野外炊飯、雪遊びなど
	津山 森のようちえん ことこと	
	岡山県津山市神代 久米山	
H29 4	公益社団法人 京都市保育園連盟 八瀬野外保育センター 京都市内の保育園・幼稚園	京都の保育園、幼稚園の園児が遠足や宿泊保育に利用している。遠足で遊びに来た園児に、山で見ることのできる草木、花、生き物を紹介し、山での注意事項を説明し、楽しく自然の中で遊んでもらうことを心がけている。 （パネルのみ、分析シート無し）
	幼児に土と緑を	
	京都市左京区八瀬	
H29 5	吉野町教育委員会・町立わかばこども園 森林インストラクター（奈良県）	吉野町内で育つ 0～15歳の子どもたちを対象とした、「木育」宣言をしている吉野町の取組。 吉野町わかばこども園（3～5歳児）は森林インストラクターや地域おこし協力隊と連携・協働して、吉野の森や神社等をフィールドに「森と遊ぼう」という園外活動を年に5回程行っている。
	わかばこども園「森と遊ぼう」	
	奈良県吉野郡吉野町	
H29 6	橋本市立清水小学校 橋本ひだまり倶楽部（和歌山県）	和歌山県橋本市運動公園「ひだまりの郷」を活用した体験。 小学校4年生で、木工体験、森林体験、間伐体験、釜戸ご飯の体験などを通して、自然環境について考えることができてきた。 橋本ひだまり倶楽部では、森林整備のボランティアや子ども達に森林体験活動を行っている。
	・郷土の森の森林体験からふるさとの自然を考えよう ・子ども力（こどもりょく） 小学生だって竹林整備!!	
	和歌山県橋本市 ひだまりの郷内	
H29 7	土地に根ざした学びの場・まるやま組 輪島市立三井小学校（石川県）	まるやま組が地域の活動の中で得た成果を、子供達へ伝えるために、2012年より三井小学校で、里山で行うプログラムを連携して行う。2016年からは、森林を軸に校区内の地域住民（林家、農家、紙漉き職人、輪島塗職人、製材所、庭師、生態学者、染色家など）を先生に、野外で五感を使って体験する取組を企画運営している。 地域住民にとっても、子供達に伝える機会を持つことで喜びや生きがいを感じている。また、小学校を中心に地域の企業、大学、行政などが連携している。
	よぼし子の森 ～ムラからマチへつながり、かわり、ひろがる～	
	石川県輪島市三井町	
H29 8	箕面市立止々呂美小学校（とどろみの森学園） NP0法人とどろみの森クラブ（大阪府）	とどろみの森学園は、中学校と小学校の小中一貫校で、1年生から8年生まで近くの里山で活動を行っている。 地元のNP0法人とどろみの森クラブと連携して、里山散策やクラフト、里山学習や里山保全など、学年に応じた活動を展開しており、6年生の活動を紹介する。
	里山体験学習	
	大阪府箕面市森町	

事例報告 H29-8

団体名： 箕面市立止々呂美小学校・NPO法人とどろみの森クラブ（大阪府）

プログラム名： 里山体験学習

（１）プログラムの目標

- ・ 地域の人とのつながりを楽しむ。
- ・ 間伐体験や道普請を通して、地域の自然に親しみをもつ。
- ・ 体験学習を通して、里山について理解を深め、里山保全に取り組もうとする態度を育てる
- ・ 学んだことを通して、とどろみの環境について考え、自ら課題意識をもち、解決に取り組もうとする。

（２）プログラムの概要

- 6年生の取組事例
- ・ 里山についての講義
 - ・ 散策道の道普請
 - ・ 散策道付近の間伐
 - ・ これまでの学習や体験学習を通して、とどろみの環境について学んだことや考えたことを、他学年などに発信していく。

（３）プログラムの展開

時間数	プログラムタイトル	
	活動内容	指導・支援の方法、ポイント等（教材等）
	in、about、for の視点で活動内容を区分	
1	里山について知る	
	なぜ間伐をするのかを、とどろみの森クラブの方からお話を聞く。	とどろみの森クラブの方から話してもらう。 
	about 里山の話聞く（情報収集）	
3	間伐体験	
	散策道付近の間伐をする。 	とどろみの森クラブの方に道具の扱い方、間伐の方法を指導してもらう。 とどろみの森クラブの方の指導のもと、木を選定し、伐採していく。 
	in 伐採体験	
4	道普請	
	道普請をする。 	森クラブの方から道具の扱い方を指導してもらい、作業する。 
	in 道普請	
4	とどろみのすてきを伝えよう	
	学んだことを他学年に発信する。 	これまでの体験活動を通して、とどろみの環境の良さを改めて考え、自分たちにできることを実践したり（ビオトープ再建）、発信したり（他学年に発信）していく。  
	for 実践 発表	

（４）プログラムでの連携内容

（教育機関、地域、団体等での、①連携・協働先、②役割分担、③具体的な連携・協働の内容）

①とどろみの森クラブ

②里山についての講義、体験活動の準備と実施、実施に伴うスタッフ活動等

③事前の打ち合わせ２回（日程と内容決め。直前の打合せ）

とどろみの森クラブ小屋で集合し、里山についての講義をしてもらう。

里山での活動実施（道具や活動のための準備・道具の使い方のレクチャー、グループの見守り等）



（５）活動の分析（学習指導要領との関連または森林環境教育の視点） 上位３項目

教科・項目、視点	学習内容
総合的な学習 ５、管理・維持	里山保全のために、間伐や道普請をする。 林道を管理・整備することで、里山が利用しやすくなることを知る。
総合的な学習 ３、多面的な機能	里山の機能について聞く。 間伐の意味を知り、伐採体験の向かおうとする気持ちを高める。
総合的な学習 ２、自然的特性	動物（鹿や鳥）との関わりを知り、鹿害を減らし、大鷹が住む森にしようとする取り組みについての理解を深める。

（６）活動の分析（資質・能力の視点）

項目	E S D の要素（７つの能力・態度）の視点で見つめ直して、 もっとも重視する視点の内容を記載してください。
①生きて働く「知識・技能」の習得	○里山についての講義 ５年生の社会でも林業の単元があり、山の機能や、間伐の意義は学習済みである。 ６年生でさらに話を聞くことで、知識が広がり、体験を通してさらに理解を深めることができる。
②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	○他学年への発信 とどろみの環境を考えるとというテーマで、自分たちがしたいこと、やりたいことを出し合い、「他学年などにとどろみの良いところを発信したい。」という思いが出てきた。伝える内容や方法を考え、発表内容でグループ分けした。国語の授業で学んだ発表方法などをいかしてプレゼンテーションソフト等を使って発表することで、伝える力を育む。
③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養	○体験学習 体験学習を通して、教室で学習したことをさらに深められ、興味関心を高められる。 ○発信 学んだこと、考えたことを形にしていこうとする力を育てる。

（７）実施後、参加者の変化

- ・道普請はしんどかった。こんな作業をしていることを初めて知った。
- ・間伐をすることで、森が育つことが分かった。
- ・道普請をすることで、歩く道がきれいになって歩きやすくなった。
- ・鹿に食べられないようにネットをはっていることがわかった。
- ・止々呂美には自然がたくさんあって、よいところだと思った。
- ・他の学年に伝えられてよかった。



とどろみの森学園は、箕面森町という新興住宅地にあり、府内の公立学校で初の施設一体型の小中一貫校です。今年で開校10年目を迎えました。

山に囲まれた地域の特色を生かし、開校当初から地域理解学習を進めています。地元のNPO法人とどろみの森クラブと連携して、里山散策やクラフト、里山学習や里山保全などの活動を様々な学年で展開しています。

学校の取り組み

- ・開校当初から地域理解学習を柱とした学習
- ・生活科や総合的な学習の時間に地域を学ぶ

～地域の特産物 ゆず・しいたけ・びわ・炭～
～地域の特徴 近くに里山・余野川など～



校舎全景



びわの袋かけ



炭焼き体験

地域を学ぶ



しいたけ菌植え



森林整備体験

特定非営利活動法人 とどろみの森クラブ

自然と人との豊かな調和を目指す三共生

環境共生

- 森林の維持管理
- 自然生物の保護
- 農園づくり
- 花壇づくり

地域共生

- 地域自治会との共同活動
- 地域小中学校との共同活動
- 地域企業・団体との共同活動

多世代共生

- 親子の里山体験
- 親子の木工教室
- シニア世代の生きがい活動

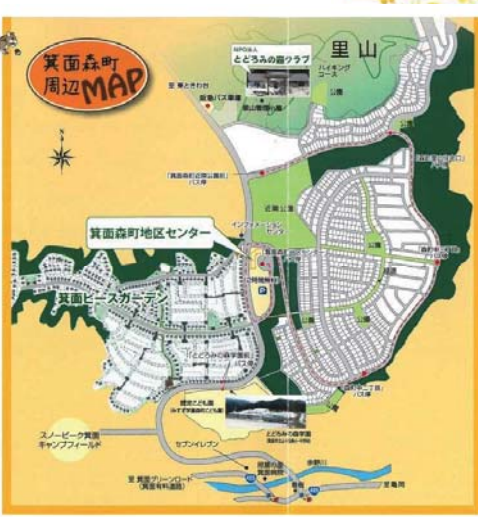
活動の目的

私たちは、特定非営利活動法人「とどろみの森クラブ」を平成19年2月に設立し、大阪府箕面市森町に拠点を置いて活動しています。

この地域には、昔からの深山を抱えた里山が残されていて、希少な動植物が多く生息しています。箕面森町は、三共生「自然環境・地域・多世代」をコンセプトとして開発されていて、この趣旨に賛同する近隣地域の人達と共同して自然と人が豊かに共生する環境づくりを目指しています。

当クラブの特色は、様々な経験と知識を持つ有志が集まっていることで、多様な能力を共有してユニークな組織を構成しています。

この組織を活用して、森林整備、地域の人たちの農業・園芸・木工などの活動を通じて三共生に取り組むとともに、社会に役立つ情報を発信しています。



活動案内

グループ活動について

クラブ共通の活動支援を行いながら、グループに分かれて独自の活動を行っています。

森林グループ

箕面森町周辺は、奥山の風情が残されています。間伐、林床整備、道普請など里山整備、炭、薪、椎茸の生産をし、里山としての創生活動を行っています。

農業グループ

里山の環境を生かした土づくり、雨水の活用を行い、たくさんの大地の恵みをみんなで分かち合える活動を行っています。

木工グループ

里山の森林整備を行った時の間伐材を利用して、クラフト作品を作っています。幼児から大人までのクラフト体験教室を開き自然に親しんでいます。

園芸グループ

里山の公園・花壇づくり、植樹などを通じて木々・花を育てる喜びや楽しみを地域の人達と分かち合う活動やリース作り等の園芸教室を定期的に開催しています。



とどろみの森クラブと連携して、里山で自然体験

